

## 県内景況情報

8月期

## ● 製造業

## 〈食料品〉

## 〔清物製造業〕

業界の良し悪しが企業によってバラつきが出て来ている。売り場の集約化によって各企業に良い影響と悪い影響が出て来ている。

## 〔乳製造業〕

長年の消費減退に加えて、消費税増税により厳しい環境が続いている。また、電気料金や重油、ガス代等のエネルギーコストや石油製品を使用する包材料の高騰は製造コストを圧迫している。

## 〔パン製造業〕

材料（イースト）使用量が前年比△7%となり、売上にも影響ありと思われる。

## 〈木材・木製品〉

## 〔建具・木材製造業〕

製作及び現場施工の人手不足感あり。

## 〔木材製造業〕

消費増税の影響と天候不順の影響から、少し動きが鈍くなっている。販売価格が昨年同期より、約10%上昇している為、何とか年間目標を上回っている状況である。先行不透明。

## 〈鉄鋼・金属〉

## 〔鑄造業〕

前年比では、まだ厳しいが、前月より少し改善の兆しが見える。

## 〈一般機器〉

## 〔一般機械器具製造業〕

昨年8月頃から受注増加に伴い増産体制に入った。今期は7月頃から売上横ばい若しくは減少。

## 〔産業機械器具製造業〕

8月度売上は7月度に比べ大きな変動なし。（但し、前年同月比は+数%を4月以降継続している。）産業用ロボット関連は、依然国内外共好調に推移している。好調の継続と、更なる増産を期待している。

## 〈電気機器〉

## 〔電気機械器具製造業〕

機械加工等では短期納期で忙しいが、残業代などで差し引き0みたいなことになっている。設備投資は低迷している。

## ● 非製造業

## 〈卸売業〉

## 〔茶商卸売業〕

組合員の減少に歯止めがかからない。高齢化と後継者不在が大きな要因であるが、事業（小売業）の将来に対する希望がもてない→特に小規模小売店がスーパー等に飲み込まれることが大きいと感じる。

## 〈小売業〉

## 〔青果小売業〕

長雨による日照時間の不足から野菜の入荷量、特に葉類は激減し、高値で推移している。果物も天候不順により、品質に影響が出ている。

## 〈商店街〉

## 〔北九州市〕

天候不順、記録的な雨量、来街者減。近隣大型店の競争激化。9月頃には更にイオンタウンOPEN。店の努力で何処まで生き延びれるか。一人ひとりのお客様を大事に顧客管理を徹底的に最高のおもてなしをめざす。

## 〈サービス業〉

## 〔クリーニング業〕

未だ業界の景気は厳しい状況。消費者の財布は未だかたい。消費税のアップが要因と思われる。9/7講習会を実施。

## 〔警備業〕

受領金額がやや高くなってきたが、人手不足解消までの売上増はない。

## 〔倉庫管理業〕

燃料費の高騰が続き、収益を圧迫している状況が続いているが、特に大きな変化はない。

## 〈建設業〉

## 〔総合工事〕

受注状況にバラツキが生じている。公共工事は忙しいが、民間工事は、動きが鈍いが引合いは増加しているので9-10月は受注増となりそうだ。

## 〈運輸業〉

## 〔道路貨物運送業〕

建設資材を運んでいる企業では、都市部ほどの活況はない。その他の貨物についても、景気回復、地方への波及は実感できていない。

# 福岡県の業種別D・I値の変化

(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	↓	→	→	→	↓	→	→	→	↓
	繊維・同製品	↓	↑	→	→	→	→	→	→	↓
	木材・木製品	↓	→	→	→	↓	→	→	→	↓
	印刷	↓	→	→	→	↓	→	↓	→	↓
	窯業・土石製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	↓	→	→	→	↓	→	↓	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	↓	→	↓	↓	↓	→	↓	→	↓
非製造業	卸売業	↓	→	↑	→	→	→	—	→	↓
	小売業	→	→	↑	→	↓	→	—	→	↓
	商店街	↓	↓	→	→	↓	→	—	→	↓
	サービス業	↓	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	↓	—	→	→	↓	→	—	→	↓
D・I		-31	-20	13	-5	-31	-12	-18	-6	-36

↑ 増加・上昇・好転     
 → 不変     
 ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

- 「売上高」「収益状況」「景況」は3月をピークに下降している。夏場になっても回復のきざしが見えていない。
- 前年同月比で最も増加したのは「販売価格」D・Iで、8ポイント増加している。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>